**令和２年度　活動報告書**

（相談支援、保育所等訪問支援、ブループリント）

　ＮＰＯ法人いんくるプラス

**【ブループリント】**

**個別療育と小集団療育**

　①活動及びカウンセリングを通し、社会性、コミュニケーション能力向上を軸にした療育を行った

　②ニーズの見立て、計画を「認知発達」「学習面」「経験」「周囲の関わり方」「情報処理・実行機能」に分け判定し、判断を行った

　③療育場面を保護者に見てもらい、保護者へのフィードバック、アドバイスを行った。同時にペアトレを実施

④課題活動の一つに認知課題の取り入れ

⑤電話及びメールでの相談

⑥定期活動実施者の整理（回数、頻度、内容の見直し

|  |  |
| --- | --- |
|  | 実数（人）／月平均 |
| 相談（初回・単発含む） | ４ |
| 相談のみの継続 | ３ |
| 個別療育実施（単発含む） | １４（デイ・ヘルプ活用例含む） |
| 療育定期継続（月１回以上） | ８ |
| 学校との連携 | １０（校） |
| 小集団（クリニック）R3.3月終了 | ８名/１回×６の６セット（３クール） |

主な相談内容

・不登校

・ゲーム依存

・学校でのトラブル

・対人関係のトラブル（家族以外への免疫づくり）

・自己分析、自己理解

・家庭での過ごし方

・接し方が分からない

・将来への不安・見通し

・兄弟児、父親との関係

**小集団活動**

* クリニックでの少人数グループの確立と親向けプログラムの実施を経て、いんくる仕様のプログラムマニュアルを作成。
* コロナ禍により、開始時期の再検討。
* 実費支援では「活動」「相談及びカウンセリング」を中心に行った。特に保護者相談の回数を増や　　　した。
* カウンセリングを中心に行う時間も増え、本人も問題意識が早期に理解できるようになった。
* 午前中、不登校児への支援としてデイ利用として受け入れ可能か検討。

**【相談支援事業】**

* 現在の契約数（令和３年３月現在）　　児童（１８歳未満）　１３名

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　成人（１８歳以上）　　１名

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | ４月 | ５月 | ６月 | ７月 | ８月 | ９月 | １０月 | １１月 | １２月 | １月 | ２月 | ３月 |
| 児童 |  | １ |  |  |  | １ |  | ２ |  | ２ | １ | ４ |
| 成人 |  |  |  |  |  |  |  |  |  | １ |  |  |

* 契約数を調整しているため、令和２年度は積極的な受け入れは行っていない。
* 契約者とはひと月に一回、電話での聞き取り、必要に応じて訪問を実施。いんくるの利用者及び、放課後等デイサービス利用目的が大半を占めている。
* 契約待機中：５名

**【保育所等訪問支援事業】**

契約者数：１名

* いんくるの利用者で、学校との連携もできていた子の支援を行う。
* 退院後の学校復帰のため、学校との連携として管理職、支援級の先生、コーディネーターと２回やり取りを行い、その後メールにて状況の確認を行いながら、環境設定と受け入れ態勢の確認を行う。
* 学校復帰当日と次の日に本人と一緒に登校。その後、学校と支援会議を行い、今後の方針等共有を行った。
* 本人、家庭、学校との関係調整が必要になりそうな場合は、この制度があることを保護者に伝えていくようにする。